

泌尿器本試 2017 再現問題

※腎臓の問題は別紙参照

1 3. 正しい記載を 1 つ選べ

- a. 右腎が左腎より高い
- b. 左精巣静脈は直接下大静脈に流入する
- c. 左副腎静脈は直接下大静脈に流入する
- d. 腎茎部は前面から腎静脈、尿管、腎動脈である
- e. 腹部大動脈と上腸間膜動脈の間を左腎動脈が走っている

1 4. 正しい記載を 1 つ選べ

- a. KUB の U は尿道を示す
- b. IVP の P は前立腺を示す
- c. TUR の U は尿道を示す
- d. ESWL の E は内視鏡を示す
- e. GFR の R は腎を示す

1 5. 褐色細胞腫について正しいものを 2 つ選べ

- a. 20%が悪性である
- b. 低カリウム血症を伴う高血圧症が主症状である
- c. 原発性アルドステロン症を合併しやすい
- d. 高血圧の治療には α 遮断薬を用いる
- e. MIBG シンチを撮る

1 6. 副腎皮質腺腫による Cushing 症候群について誤っているものを 1 つ選べ

- a. デキサメタゾン抑制試験で血中コルチゾールは抑制されない
- b. ACTH、コルチゾールは朝低く、夜高い日内変動がある
- c. インスリン拮抗作用による耐糖能の低下をきたす
- d. 副腎腺腫摘出後、ホルモン療法を行う

1 7. 原発性アルドステロン症で誤っているものを 1 つ選べ

- a. 低カリウム血症
- b. 比較的高ナトリウム血症
- c. 高血圧
- d. アシドーシス

e. 夜間多尿

18. 腎細胞癌に対する手術療法について正しいものを1つ選べ

- a. 腎細胞癌の手術では術後の副腎機能の低下を防ぐために患側副腎を温存する
- b. 腎部分切除後の局所再発は約 30%の症例で認められる
- c. 根治的腎摘除術では、病変の血行性播種を防ぐために、腎動脈より先に腎静脈を結索する
- d. リンパ節郭清は臨床的意義が乏しい
- e. 腎の温阻血時間が 60 分以内であれば、患側腎に高度の機能障害はもたらされない

19. 前立腺癌について誤っているものを1つ選べ

- a. 臨床癌とは、臨床的に前立腺癌と診断され、組織診で前立腺癌を支持する所見が見られる癌のことである
- b. オカルト癌とは、転移性悪性腫瘍の発見に伴う原発巣検査で原発巣を見つけることができず、後に別の検査で前立腺癌が原発巣として発見された場合のことである
- c. 偶発癌とは、非悪性腫瘍を切除した際の生検によって偶発的に発見された癌である
- d. ラテント癌は生前に前立腺癌の所見を認めず、死後の解剖などによって前立腺癌が発見された症例である
- e. ラテント癌、偶発癌はともに微小癌である

20. 前立腺癌について正しいものを1つ選べ

- a. PSA は特異的な腫瘍マーカーである
- b.
- c.
- d.
- e.

21. 前立腺癌の放射線療法について誤っているものを1つ選べ

- a.
- b. 骨転移の骨痛に有効である
- c.
- d. ブラキセラピーとは外照射を限局させる治療法である
- e. 周辺臓器への照射影響を考える

22. AFP 値が上昇しない精巣腫瘍を2つ選べ

- a. セミノーマ

- b. 胎児性癌
- c. 奇形腫
- d. 絨毛癌
- e. 卵黄囊腫瘍

23. カテーテルや採尿用袋を使用しなくてもよいものを1つ選べ

- a. 腎瘻
- b. 尿管皮膚瘻
- c. 膀胱瘻
- d. 回腸導管
- e. 新膀胱増設

24. 我が国の透析医療の特徴について正しいものを2つ選べ

- a. CKDの原因として、糖尿病が1位である
- b. 高齢者が多い
- c. 長期透析患者の占める割合が低い
- d. 透析腎癌の発生は少ない
- e. 異所性石灰化は少ない

25. 腎移植について誤っているものを1つ選べ

- a. 受腎者をドナーという
- b.
- c. 献体腎が生体腎より圧倒的に多い
- d. ABO 不適合血液型の場合も移植は可能である
- e. 移植前に HLA 抗原適合検査を行う

26. 結石の成因として誤っているものを1つ選べ

- a. 副甲状腺機能亢進症
- b. Cushing 症候群
- c. ビタミン D 過剰
- d. 尿路感染症
- e. 原発性アルドステロン症

27. 尿路感染症の起炎菌として不適当なものを1つ選べ

- a. 大腸菌
- b. 腸球菌

- c. 肺炎球菌
- d. 緑膿菌
- e. 乳酸菌

28. 急性腎盂腎炎について正しいものを1つ選べ

- a. 急性単純腎盂腎炎は高齢の女性に多い
- b. 起炎菌は肺炎桿菌である
- c. 小児では消化器症状（嘔吐、腹部膨満感）をきたすことがある
- d. 水腎症や結石を合併して重症の急性増悪（上部尿路閉塞）の場合、多めの内服抗生剤を投与する
- e. 末梢白血球の増加、核の左方移動、CRP 陰性となる

29. 18年前子宮全摘手術を行った女性が、排尿時痛を訴え受診。適切な検査はどれか

- a. チェーン造影
- b. 残尿量測定
- c. 排尿時膀胱尿管造影
- d. 尿流量検査
- e. 経静脈的膀胱造影

30. IPSS の評価基準に含まれない下部尿路障害を1つ選べ

- a. 残尿感
- b. 尿失禁
- c. 腹圧排尿
- d. 尿線途絶
- e. 夜間頻尿

31. 尿失禁について正しいものを1つ選べ

- a. 咳によって引き起こされるものを溢流性尿失禁と呼ぶ
- b. 子宮癌根治術の後には腹圧性尿失禁が起こりやすくなる
- c. 尿管性尿失禁は、尿管の異所開口によって引き起こされる
- d. 精神的な負担によって引き起こされる尿失禁を stress incontinence という
- e. 切迫性尿失禁の治療には α 1拮抗薬を用いる

32. 急性尿閉に対して、導尿できなかった場合の処置として最も適当なものを選べ

- a. 補液
- b. 利尿剤投与

- c. 下腹部圧迫
- d. 経腹的膀胱穿刺
- e. 経皮的腎瘻増設

33. 淋菌感染症について正しいものはどれか

- a. 潜伏期間は 10~14 日である
- b. 淋菌はグラム陽性双球菌である
- c. 膀胱炎として発症することが多い
- d. クラミジアとの混合感染が 90%に見られる
- e. ニューキノロン系抗菌薬に対する耐性株が増加している

34. 男性不妊症の原因と対応の組み合わせで正しいものを 1 つ選べ

- a. 射精障害—テストステロン補充療法
- b. 精索静脈瘤—精路再建術
- c. 閉塞性無精子症—ゴナドトロピン補充療法
- d. 非閉塞性無精子症—精巣内精子採取術
- e. 低ゴナドトロピン性性腺機能低下症—人工授精

35. 精子形成のために sertoli 細胞に直接作用するホルモンを 2 つ選べ

- a. ACTH
- b. FSH
- c. GnRH
- d. LH
- e. テストステロン

36. 直腸指診で前立腺癌を疑う所見はどれか

- a. 圧痛
- b. 石様硬
- c. 弾性硬
- d. 血液付着
- e. 表面平滑

37. 男性の尿路クラミジア感染の検査として最も適切なものはどれか

- a. 尿沈渣
- b. 精液検査
- c. 尿の PCR 法

- d. 血液培養検査
- e. 尿の Gram 染色

38. ヒトパピローマウイルスが原因となる疾患はどれか

- a. 軟性下疳
- b. 精巣上体炎
- c. 亀頭包皮炎
- d. 非淋菌性尿道炎
- e. 尖圭コンジローマ

39. 前立腺癌の原発巣に対して根治的放射線療法として行われるものを2つ選べ

- a. 腔内照射
- b. 組織内照射
- c. 電子線治療
- d. 強度変調放射線治療
- e. 放射性同位元素内用療法

40. 無尿をきたすのはどれか

- a. 大腸癌
- b. 膀胱癌
- c. 子宮筋腫
- d. 前立腺肥大症
- e. 両側尿管結石

41. 尿路の機能について誤っているものはどれか

- a. 尿管は蠕動運動で尿を輸送する
- b. 陰部神経は畜尿に関与する
- c. 閉鎖神経は排尿に関与する
- d. 前立腺には $\alpha 1$ 受容体が分布する
- e. 外尿道括約筋は随意筋である

42. 疾患と検査法の組み合わせで有用性が低いものはどれか

- a. 腎腫瘍—腹部造影 CT
- b. 尿管腫瘍—経静脈的尿路造影
- c. 膀胱尿管逆流—尿管鏡検査
- d. 間質性膀胱炎—膀胱鏡検査

e. 前立腺腫瘍—経直腸超音波ガイド下生検

4 3. 発熱を伴わないものはどれか

- a. 腎膿瘍
- b. 急性腎盂腎炎
- c. 急性膀胱炎
- d. 急性前立腺炎
- e. 急性精巣上体炎

4 4. 過活動膀胱の症状を 2 つ選べ

- a. 頻尿
- b. 血尿
- c. 排尿痛
- d. 尿意切迫感
- e. 腹圧性尿失禁

4 5. 経尿道的手術の適応とならないものはどれか

- a. 尿管結石
- b. 膀胱結石
- c. 膀胱癌
- d. 前立腺肥大症
- e. 前立腺癌

4 6. 排尿障害の診断でまず行うものはどれか

- a. 遺伝子検査
- b. 神経伝導検査
- c. 膀胱内視鏡検査
- d. 腹部超音波検査
- e. 腹部 X 線造影

4 7. 61 歳の女性。尿失禁を主訴に来院した。3 年前から遺伝性脊髄症尿変性症で治療を受けている。2 か月前から突然の尿意を伴わない尿失禁が出現したため受診した。くしゃみでは尿は漏れない。意識は清明。構音障害、協調運動障害および失調性歩行がある。腹部は平坦、軟で圧痛を認めない。尿所見：蛋白(—)、糖(—)、沈査に赤血球 1~4 個/1 視野、白血球 1~4 個/1 視野。腹部超音波検査で残尿を認めない。考えられる尿失禁の種類はどれか。

- a. 溢流性

- b. 機能性
- c. 切迫性
- d. 反射性
- e. 腹圧性

48. 前立腺肥大症で見られないものはどれか

- a. 残尿感
- b. 夜間頻尿
- c. 尿線途絶
- d. 排尿後尿滴下
- e. 腹圧性尿失禁

49. 尿路結石症の危険因子を3つ選べ

- a. 糖尿病
- b. 長期臥床
- c. 悪性腎硬化症
- d. Cushing 症候群
- e. 尿細管性アシドーシス

50. 頻尿の原因で誤っているものはどれか

- a. 尿崩症
- b. 肥満症
- c. 膀胱炎
- d. 糖尿病
- e. 前立腺肥大症

51. 45歳の男性。人間ドックで右腎の腫瘍を指摘されて来院した。1か月前の人間ドックの超音波検査で右腎に直径3cmの腫瘍を指摘された。自覚症状はない。体温36.3度。血圧138/82mmHg。腹部は平坦、軟で肝・脾を触知しない。尿所見：蛋白(―)、糖(―)、沈査にRBC1~4/1視野、WBC1~4/1視野。血液所見：RBC 440万、Hb 14.8g/dL、Ht 41%、WBC 4600、血小板 18万。血液生化学所見：総蛋白 7.3g、アルブミン 3.9g、総ビリルビン 1.0mg/dL、AST 38IU/L、ALT 32IU/L、LD 216IU/L(基準 176~353)、 γ -GTP 38IU/L(基準 8~50)、尿素窒素 14mg/dL、クレアチニン 0.9mg/dL、尿酸 6.3mg/dL、血糖 82mg/dL、Na 139mEq/L、K 4.6mEq/L、Cl 106mEq/L。CRP 0.2mg/L。腹部造影 CT で早期に染まり、wash out している腫瘍があった。考えられる疾患はどれか。

- a. 単純性腎嚢胞

b. 腎血管脂肪腫

c.

d. 淡明細胞癌

e. 嫌染色性癌

5 2. 65 歳の男性。血尿を主訴に来院した。3 か月前から血尿を自覚していたが、自然に消失していたため医療機関を受診していなかった。2 日前から血尿が持続するため受診した。喫煙は 20 本/日を 45 年間。飲酒はビール 350mL/日を 20 年間。身長 165cm、体重 90kg。血圧 160/100mmHg。尿沈渣に赤血球多数/1 視野、白血球 5~10/1 視野。尿細胞診はクラス V。脊髄くも膜下麻酔下で経尿道的膀胱腫瘍切除を行った。病理所見では尿路上皮癌 pTa と上皮内癌とを認める。術後 1 か月目に施行した尿細胞診でもクラス V であった。この患者の治療として適切なものはどれか。

a. 膀胱全摘術

b. 放射線療法

c. 抗癌化学療法

d. 分子標的薬投与

e. BCG 膀胱内注入療法

5 3. 25 歳の男性。陰嚢腫大を主訴に来院した。6 か月前から陰嚢内に硬結を自覚していたが痛みがないため医療機関を受診していなかった。1 か月前から陰嚢内の硬結が腫大してきたため受診した。右精巣は鶏卵大に腫大し圧痛は認めない。陰嚢部超音波検査で右精巣は内部不均一である。胸腹部造影 CT で明らかな異常所見を認めない。血液生化学所見：LD224IU/L(基準値 176~353)、hCG 0.3mIU/mL(基準 0.7 以下)、 α -ヘプトプロテイン (AFP) 8ng/mL(基準 20 以下)、右精巣腫瘍と診断し右高位精巣摘除術を施行した。今後の治療方針として無治療経過観察を選択した。経過観察中に転移再発が生じやすい部位はどこか。

a. 骨盤リンパ節と脳

b. 後腹膜リンパ節と脳

c. 後腹膜リンパ節と肺

d. 鼠径部リンパ節と肺

e. 鼠径部リンパ節と骨

5 4. 58 歳の男性。PSA 高値を指摘され来院した。7 年前から人間ドックで定期的に PSA を測定していたが基準値を超えたため受診した。排尿障害を認めない。直腸指診で前立腺はくるみ大、弾性硬で両葉に小結節を触知する。PSA 6.5ng/mL(基準 4.0 以下)。骨盤部 MRI の T2 強調像で前立腺辺縁領域に低信号を認めるため前立腺生検を施行した。病理診断では前立腺左葉の 6 本中 2 本、右葉の 6 本中 1 本に中分化腺癌(Gleason score 4+4)を認める。

骨シンチグラフィでは異常な集積を認めない。対応として適切なものはどれか、2 つ選べ。

- a. 放射線療法
- b. 抗癌化学療法
- c. PSA 監視療法
- d. 前立腺全摘除術
- e. 分子標的薬投与

5 5. 75 歳の男性。尿が出ないことと腹部の膨満感を主訴に来院した。

現病歴：2 日前からくしゃみと鼻汁のため市販の総合感冒薬を服用していた。昨夜から尿が出なくなり、下腹部の膨満感と疼痛が出現した。以前から尿が出にくく残尿感があったという。

既往歴：10 歳時に虫垂切除術

生活歴：無職。妻と 2 人暮らし。喫煙は 45 歳まで 20 本/日を 25 年間。飲酒は機会飲酒。

家族歴：特記すべきことはない。

現症：意識は清明。身長 175cm、体重 80kg、体温 36.7 度。脈拍 88 分/整、血圧 120/84mmHg。

呼吸数 20/分。SpO2 98%(room air)。皮膚は乾燥。眼瞼結膜と眼球結膜に異常を認めない。

口腔内と咽頭に異常を認めない。甲状腺腫と頸部リンパ節を触知しない。心音と呼吸音に異常を認めない。下腹部は緊満しており、恥骨上に圧痛を認める。この患者に直腸指診を行った際の前立腺所見はどれか

- a. 圧痛
- b. 熱感
- c. 一部が石様硬
- d. 可動性の消失
- e. 弾性硬の腫大

5 6. 38 歳の男性。発熱と陰嚢痛を主訴に来院した。5 日前から 39 度台の発熱、悪寒、頭痛、および耳前部の痛みを自覚していた。2 日前から発熱と悪寒は軽快していた。本日朝から左陰嚢の腫大と疼痛、下腹部痛および悪心を自覚している。2 週間前に 6 歳の息子が流行性耳下腺炎と診断されていた。流行性耳下腺炎のワクチンの接種歴はない。その他の既往歴に特記すべきことはない。身長 172cm、体重 68kg。体温 36.8 度、脈拍 67/分、整。血圧 134/80mmHg。呼吸数 16/分。頸部リンパ節は触知しないが両側顎下部に軽度の圧痛を認める。左陰嚢に軽度発赤を認める。左精巣は腫大し強い自発痛を認める。診断として考えられるのはどれか。

- a. 精巣腫瘍
- b. 急性精巣炎
- c. 精巣捻転症

- d. 壊死性筋膜炎
- e. 急性精巣上体炎

57. 61歳の男性。人間ドックでPSA 23.0 ng/mL(基準 4.0 以下)を指摘され来院した。自覚症状はない。家族歴は父親が前立腺癌で死亡。直腸指診で前立腺左葉に硬結を触知する。経直腸超音波検査で前立腺左葉に低エコー領域を認める。前立腺針生検で8か所中2か所に低分化腺癌(Gleason score 5 + 4)を認める。この患者に説明する内容として正しいものはどれか。

- a. 偶発癌である
- b. 非上皮性腫瘍である
- c. 遺伝的要因が疑われる
- d. 肺と肝とに転移しやすい
- e. 直腸への播種が疑われる

58. 身体診察の所見と疾患の組み合わせで正しいものはどれか。

- a. 筋性防御—急性膀胱炎
- b. 陰嚢内腫瘍—停留精巣
- c. 下腹部腫瘍—尿管結石
- d. 側腹部腫瘍—鼠径ヘルニア
- e. 肋骨脊柱角叩打痛—急性腎盂腎炎

59. 尿路結石の再発予防に有用なのはどれか。2つ選べ。

- a. プリン体の摂取
- b. ビタミンCの摂取
- c. クエン酸製剤の内服
- d. カルシウムの摂取制限
- e. 1日2L以上の水分摂取

60. 79歳の男性。排尿障害を主訴に来院した。10年前から骨転移を伴う前立腺癌に対しホルモン療法を受けているが、1年前から治療に抵抗性を示している。1か月前から頻尿と残尿感を自覚していた。今朝から排尿障害と下腹部膨満感が出現したため受診した。意識は清明。身長 165cm、体重 63kg。体温 36.2 度。脈拍 80/分、整。血圧 148/86mmHg。呼吸数 16/分。下腹部に膨隆を認める。血液生化学所見：尿素窒素 28mg/dL、クレアチニン 1.5mg/dL、Na 135mEq/L、K 4.6mEq/L、Cl 116mEq/L、PSA 15.5ng/mL(基準 4.0 以下)。腹部超音波検査で両側水腎症と膀胱内の大量の尿貯留を認める。まず行うべきなのはどれか。

- a. 腎瘻増設術
- b. 腹部造影 CT
- c. 骨盤部単純 MRI
- d. 尿管ステント留置
- e. 尿道カテーテル留置

6 1. 排尿記録を読み、以下の問に答えよ。

- ・ 昼間尿量、夜間尿量、1 日尿量、1 日最大量を求めよ
- ・ 夜間多尿指数を求めよ
- ・ 頻尿、夜間頻尿、多尿、夜間多尿のうち、当てはまるものには○を、違うものには×をつけよ

時間	尿量(mL)	備考
6:00	350	起床
7:00	160	
9:20	70	
11:00	110	
13:00	80	
15:30	120	
17:10	70	
19:00	90	
20:00	100	
22:00	100	就寝
23:50	100	
0:40	100	
2:20	80	
4:30	100	
8:00	200	起床

6 2. 前立腺肥大症の手術適応について知るところを述べなさい

6 3. 前立腺肥大症の薬物療法について知るところを述べなさい